

■坂口安吾 小説家。〈敗戦〉直後に「墮落論」を書いて圧倒的な人気を得、“無頼派”と呼ばれて活躍したが、急死した。
さかぐちあんご
満鉄発足・・・1906＝ 新潟市で、代議士・新潟新聞社社長で漢詩人でも知られた坂口仁一郎の五男、13人兄弟の12番目に生まれる。母は素封家吉田家のアサ。本名炳五。

大逆事件判決1911＝ 5歳：妹が誕生。西堀幼稚園に入る。
明治天皇没・・・1912＝ 6歳：
大正政変・・・1913＝ 7歳：新潟尋常小学校に入学。

21ヶ条要求・・・1915＝ 9歳： 正義感強いガキ大将の一方、立川文庫を愛読。長兄は大学に入り、姉も次々嫁ぎ、家は母と4兄・妹のみ。

本格政党内閣1918＝12歳：市民相撲大会の小学校戦で優勝するなど、運動能力に優れ、
ベルリン条約・・・1919＝13歳：操行成績とも優秀で卒業し、新潟中学に入学。小説を読み始める。親しみ感じていた異母姉に悪い噂、
大暴落・・・・・・1920＝14歳：近視悪化や反抗心から欠席がちで成績も悪化。級友と回覧雑誌。教師のつけた渾名アンゴが通称に。
原敬首相暗殺1921＝15歳：留年。異母姉の事件が{新潟毎日}で連載される。小説家を志す。
水平社結成・・・1922＝16歳：3年に進むも、教師殴打事件等で、上京して豊山中学に転校。
関東大震災・・・1923＝17歳：震災後の戒厳令のなか、父の命で、加藤高明・若槻礼次郎の火事見舞い。父が死去し、家計窮乏始まる。以後、長兄夫妻のもとで、婆や・4兄と暮らし、転居重ねる。
護憲三派圧勝1924＝18歳：全国中学陸上競技会で一等になるなど、諸競技で活躍。
治安維持法・・・1925＝19歳：創作のイメージ掴んで、中学卒業後、小学校の代用教員となる。
円本時代始・・・1926＝20歳：退職し、東洋大印度哲学科に入学。長兄が{新潟新聞}に入ったため、残る3人で東京内を転々。悟りを得ようと修行生活。徴兵検査は第二乙種。学科の学生同人誌に小論を発表し始める。

金融恐慌・・・・・・1927＝21歳：自動車に撥ねられて頭骨にヒビが入り、鬱病が始まる。修行生活を中断し、帰郷して療養。
共産党事件・・・1928＝22歳：鬱病根治すべく語学に集中しようと、アテネ・フランセに通い、回復すると、懸賞小説応募始める。
海軍軍縮条約1930＝24歳：卒業。東京に戻った長兄夫妻の新居で大家族生活。江口清・葛巻義敏らと、同人誌{言葉}を創刊し、
満州事変・・・・・・1931＝25歳：異母姉が死去。*「木枯の酒倉から」を発表。その後雑誌{青い馬}に書いた「風博士」「黒谷村」が牧野信一に認められ、牧野の主宰する{文科}に「竹藪の家」を連載。フランス作品の翻訳もてがける。

五一五事件・・・1932＝26歳：バーの女給と愛人となり、その縁で中原中也を知る。矢田津世子との恋愛始まるなど、デカダン化進む。
国際連盟脱退1933＝27歳：{桜}を創刊し、「麓」を発表などするうち、鬱病が再発するも、次々と作品を発表。
二二六事件・・・1936＝30歳：津世子と絶縁し、牧野が自殺後、自身の半生の総決算とも言うべき長編「吹雪物語」に取り掛かり、
日中戦争始・・・1937＝31歳：一時京都で生活したり、病臥するなどしながら、集中して推敲を重ね、
健保+総動員・・・1938＝32歳：可愛がっていた姪が死去。*「吹雪物語」を刊行するも、反響得られず。
大政翼賛会・・・1940＝34歳：鬱状態が続き、精神異常になった友人を入院させるなどしながら、諸雑誌に発表を続け、
日米開戦・・・・・・1941＝35歳：大井広介、平野謙らの{現代文学}に参加し、
・・・・・・1942＝36歳：長編「島原の乱」に着手、
・・・・・・1942＝36歳：母が死去。同誌に「日本文化私観」などを書き、「青春論」他の卓抜なエッセーを発表。
創価学会検挙1943＝37歳：作品集「真珠」を刊行するも、軍当局から再版を禁じられる。
年金+総武装・・・1944＝38歳：徴兵逃れのため、日本映画社囑託になる。
敗戦・・・・・・1945＝39歳：空襲激化も自宅は焼け残り、戦後、戦犯にあげられそうになった尾崎士郎の弁護に奔走。
新憲法公布・・・1946＝40歳：*「墮落論」「白痴」によって一躍流行作家となり、太宰治、織田作之助らとともに“無頼派”と呼ばれるが、殺到する作品依頼等に応じるため、ヒロポンを常用し、アルコールも大量に取るようになる。

新憲法施行・・・1947＝41歳：酒場で知り合った梶三千代と同棲。「桜の森の満開の下」ほか、膨大な作品を発表。
極東裁判決・・・1948＝42歳：探偵クラブ作家賞の「不連続殺人事件」など名作を残すが、鬱病が再発し、意識分裂、幻視幻聴が始まる。
三大事件・・・・・・1949＝43歳：芥川賞選考委員になる。犬を飼い始め、散歩するうち、少しずつ回復し、膨大な発表も続くが、
朝鮮戦争始・・・1950＝44歳：*アドルムを飲み始めて暴れるようになり、妻の妊娠も疑って暴力振るったため、中絶。
独立回復・・・・・・1951＝45歳：{読売新聞}企画で戦後初の旅客飛行に搭乗。税金滞納で家財一式が差し押さえられるなどしながらも、

TV放送始・・・・・・1953＝47歳：長男が誕生し、正式な婚姻届を出すなどするも、
自衛隊発足・・・1954＝48歳：芥川賞選考委員を辞任し、
55年体制始・・・1955＝49歳：脳溢血で、急死した。